

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づく公表
(耐震診断結果の公表)

令和4年4月19日更新
1/4

※今回更新された箇所を赤字で表記しています。

【学校(小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校)】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	長田小学校校舎	真岡市長田1302-1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.04	$C_{TU}.S_D = 0.76$	耐震改修	実施済み	
2	真岡西小学校校舎(教室棟A)	真岡市熊倉3-33-6	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU}.S_D = 0.39$	耐震改修	実施済み	
3	真岡東小学校校舎(管理教室棟)	真岡市東光寺1-4-1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.07	$C_{TU}.S_D = 0.54$	耐震改修	実施済み	
4	熟田小学校校舎	さくら市狭間田1702	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第三次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.00	$C_{TU}.S_D = 0.52$	耐震改修	実施済み	
5	氏家小学校校舎(北棟)	さくら市氏家2491	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU}.S_D = 0.74$	耐震改修	実施済み	
6	氏家小学校校舎(南棟)	さくら市氏家2491	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.04	$C_{TU}.S_D = 0.75$	耐震改修	実施済み	
7	上松山小学校校舎	さくら市氏家3496	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.04	$C_{TU}.S_D = 0.77$	耐震改修	実施済み	
8	南小学校校舎	さくら市氏家1061-3	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.12	$C_{TU}.S_D = 0.45$	耐震改修	実施済み	
9	烏山小学校校舎(本館)	那須烏山市愛宕台2800	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU}.S_D = 0.76$	耐震改修	実施済み	
10	石橋北小学校校舎(管理教室棟)	下野市上古山1932	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU}.S_D = 0.33$	耐震改修	実施済み	
11	古山小学校校舎(普通教室棟)	下野市下古山612	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU}.S_D = 0.68$	耐震改修	実施済み	
12	上三川小学校校舎	上三川町大字上三川4594	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU}.S_D = 0.33$	耐震改修	実施済み	
13	本郷小学校校舎	上三川町大字東蓼沼251	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU}.S_D = 0.42$	耐震改修	実施済み	
14	明治南小学校校舎	上三川町大字多功1412	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.08	$C_{TU}.S_D = 0.45$	耐震改修	実施済み	
15	芳賀東小学校校舎	芳賀町大字祖母井388	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第三次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.02	$C_{TU}.S_D = 0.31$	耐震改修	実施済み	
16	黒田原小学校校舎(教室棟)	那須町大字寺子乙3968-1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.00	$C_{TU}.S_D = 0.74$	耐震改修	実施済み	

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づく公表
(耐震診断結果の公表)

令和4年4月19日更新
2/4

※今回更新された箇所を赤字で表記しています。

17	馬頭小学校校舎	那珂川町馬頭169	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第三次診断法」(1990年版)	Is/Iso= 1.11	$C_T \cdot S_D = 0.79$	耐震改修	実施済み	
18	長沼中学校校舎(管理教室棟)	真岡市長沼706	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.04	$C_{TU} \cdot S_D = 0.76$	耐震改修	実施済み	
19	中村中学校校舎(管理教室棟)	真岡市中203	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.02	$C_{TU} \cdot S_D = 0.42$	耐震改修	実施済み	
20	物部中学校校舎(管理教室棟)	真岡市高田1838	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第三次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.04	$C_{TU} \cdot S_D = 0.77$	耐震改修	実施済み	
21	山前中学校校舎(管理教室棟)	真岡市小林784	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.05	$C_{TU} \cdot S_D = 0.48$	耐震改修	実施済み	
22	国分寺中学校校舎	下野市小金井4-1-8	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.00	$C_{TU} \cdot S_D = 0.34$	耐震改修	実施済み	
23	上三川中学校校舎(教室棟・管理棟)	上三川町大字上三川4279	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.04	$C_{TU} \cdot S_D = 0.76$	耐震改修	実施済み	
24	本郷中学校校舎	上三川町大字東汗520	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU} \cdot S_D = 0.54$	耐震改修	実施済み	
25	芳賀中学校校舎	芳賀町大字与能855-1	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU} \cdot S_D = 0.75$	耐震改修	実施済み	
26	壬生中学校校舎	壬生町大字壬生甲2770	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.02	$C_{TU} \cdot S_D = 0.36$	耐震改修	実施済み	
27	烏山中学校校舎(東棟)	那須烏山市南1-2810	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.02	$C_{TU} \cdot S_D = 0.63$	耐震改修	実施済み	
28	黒田原中学校校舎(教室棟)	那須町大字寺子丙92	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.01	$C_{TU} \cdot S_D = 0.68$	耐震改修	実施済み	
29	東陽中学校校舎	那須町大字芦野100	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.02	$C_{TU} \cdot S_D = 0.70$	耐震改修	実施済み	
30	馬頭中学校校舎	那珂川町馬頭2558-1	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Iso= 1.04	$C_{TU} \cdot S_D = 0.56$	耐震改修	実施済み	

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づく公表
(耐震診断結果の公表)

令和4年4月19日更新
3/4

※今回更新された箇所を赤字で表記しています。

【ホテル・旅館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	ホテルサンバレー 本館	那須郡那須町大字湯本字新林203	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ = 0.20	C _{TU} .S _D = 0.14	耐震改修	未定	
2	那須温泉 山樂	那須郡那須町大字湯本206	旅館	-	-	-	-	-	-
	東館部分			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ = 0.83	C _{TU} .S _D = 0.53	未定	未定	
	西館部分			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ = 0.88	C _{TU} .S _D = 0.55	未定	未定	

【病院・診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	自治医科大学病院本館	下野市薬師寺3311-1	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ = 1.17	C _{TU} .S _D = 0.34	耐震改修	実施済み	
2	獨協医科大学病院本館	-	-	-	-	-	-	-	-
	北棟部分	壬生町北小林字上新田1104-2他	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2009年版)〈非充腹材〉	Is/Is ₀ = 1.01	C _{TU} .S _D = 0.30	耐震改修	実施済み	
	南棟部分			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2009年版)〈非充腹材〉	Is/Is ₀ = 1.00	C _{TU} .S _D = 0.30	耐震改修	実施済み	
	東西棟部分			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」(2009年版)〈非充腹材〉	Is/Is ₀ = 1.00	C _{TU} .S _D = 0.48	耐震改修	実施済み	

【危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	キヌガワ防振部品 M3工場	真岡市松山町8-1	工場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is= 0.22	q= 0.89	耐震改修	未定	

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づく公表
(耐震診断結果の公表)

附表 耐震診断の評価と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」及び「第三次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D$
			$1.25 < C_T \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」及び「第三次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第二次診断法」及び「第三次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
			$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

- I. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

用語の説明		
I_s	構造耐震指標	地震に対する建物の強度や靱性(粘り強さ)を示す指標で、数値が大きいほど耐震性が高い。
I_{so}	構造耐震判断指標	I_s と値を比較する値であり、耐震補強設計の際の目標値となる。 $I_s/I_{so} = 1.0$ 以上であれば、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
Z	地域指標	その地域の地震活動や想定する地震動の強さによる補正係数(栃木県は $Z=1.0$)
G	地盤指標	表層地盤の増幅特性、地形効果、地盤と建物の相互作用による補正係数(備考欄に表記なき場合は $G=1.0$)
U	用途指標	建物の用途などによる補正係数(備考欄に表記なき場合は $U=1.0$)
R_t	振動特性係数	固有周期と地盤の振動特定による低減係数。周期が長く、地盤が硬いほど小さくなる。
q	保有水平耐力指標	地震や風などの水平力に対して、当該建物が耐えることができる強さをあらわした指標。主に鉄骨造の建築物に用いる。
S_D	形状指標	建物の平面・断面形状の複雑さをあらわした指標。建物の形状が複雑であったり、耐震壁の配置バランスが悪いと低くなる。
C_T	累積強度指標	建物の強さを表す指標。
C_{TU}	終局限界での累積強度指標	終局限界での建物の強さを表す指標。(終局限界とは、建物が崩壊の状況となってもはや安全とは言えない限界の状態。)